



- 1 競技の終了直前に、黒チームがフリースローにより直接ゴールを狙った。ボールがゴールに入る寸前に自動終了の合図があった。
 - (a) 競技の終了
 - (b) 黒チームのフリースローを、笛の合図なしに再度実施
 - (c) 黒チームのフリースローを、笛の合図の後に再度実施
 - (d) 黒チームの 7 m スロー

- 2 7 m スローコンテストを行う場合、使用するゴールを決定するのは誰か。
 - (a) コイントスに勝ったチーム
 - (b) コイントスに負けたチーム
 - (c) 両レフェリー
 - (d) 第 1 レフェリー

- 3 レフェリーが白チームへのスローインを判定した。このとき、白チームのチーム責任者がチームタイムアウトを請求した。
 - (a) 競技は中断中であり、チームタイムアウトは認められない
 - (b) タイムキーパーは笛を吹いて時計を止め、ジェスチャー 15 を示す
 - (c) レフェリーは、白チームのチームタイムアウトを認める
 - (d) スコアキーパーは、記録用紙にチームタイムアウトを記入する

- 4 白チームのゴールキーパー12番は、競技終了の5秒前にシュートを止めた。その後ボールは、ゴールエリア上空の天井に当たった。黒チームがスローインを行う直前に、自動終了合図があった。
- (a) 笛の合図の後に、黒チームのスローイン
 - (b) タイムアウト
 - (c) 競技の終了
 - (d) スローインの結果が確定してから競技の終了
- 5 タイムアウトを必ず取らなければならないのはいつか。
- (a) チーム役員が2分間退場となったとき
 - (b) プレーヤーが3回目の2分間退場となったとき
 - (c) プレーヤーがスポーツマンシップに反する行為を繰り返した後
 - (d) 両レフェリーでの協議が必要になったとき
 - (e) 著しくスポーツマンシップに反する行為をした後
 - (f) チーム役員を警告とした後
- 6 前半の終了合図の笛が1分早かった。笛の合図があったとき、どちらのチームもボールを所持しておらず、また、規則違反もなかった（ボールはプレイングエリアの床の上にあった）。両チームプレーヤーは、まだコート内に残っていた。
- (a) その1分は、実施しない
 - (b) その1分は、休憩時間の前に実施する
 - (c) その1分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する
 - (d) その1分は、後半の競技時間に付加する
 - (e) この1分を実施するとき、どちらのチームがボールを所持するかは、コイントスで決定する
 - (f) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する

- 7 チームタイムアウトを請求できるのは誰か。
- (a) チーム役員のうちの一人
 - (b) プレーヤー
 - (c) チーム責任者のみ
 - (d) キャプテン
- 8 白チームの4番は、黒チームの11番のシュートをブロックした。ブロックしたボールは、ゴールエリア上方の天井に触れた。その直後、黒チームのチーム役員Aは、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。
- (a) すぐに黒チームのチームタイムアウト
 - (b) ボールは天井に触れていることから、黒チームのチームタイムアウトは認められない
 - (c) 白チームのボールから競技が再開となるため、黒チームのチームタイムアウトは認められない
 - (d) 一度競技を再開させ、その後、黒チームのチームタイムアウトを認める
- 9 後半25分10秒に、白チームは2回目のチームタイムアウトを請求した。後半29分25秒、白チームがボールを所持しているときに、白チームのチーム役員Aが3回目のチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーは笛で合図をし、時計を止め、白チームのチームタイムアウトを示した。
- (a) 白チームのチームタイムアウト
 - (b) 白チームのチームタイムアウトは、認められない
 - (c) 白チームのチーム役員Aに、段階的罰則を適用
 - (d) 白チームのフリースローで競技を再開
 - (e) 相手チームのフリースローで競技を再開

10 後半 13 分 27 秒で、白チーム 15 番が得点を決めた。スローオフが実施された後、タイムキーパーは競技を中断し「白チーム 15 番は記録用紙に記載されていない」とレフェリーに伝えた。記録用紙には、白チームのプレーヤー 14 名が記載されていたが、レフェリーは、白チーム 11 番がいないことに気付いた。

- (a) 得点を取り消す
- (b) 得点は有効である
- (c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チーム 11 番を削除し、代わりに白チーム 15 番を記録用紙に記入する
- (d) 白チーム 15 番は競技への参加資格がなく、コートから去らなければならない
- (e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (f) 連盟や大会の規定に従い、報告書にその旨を特記

11 タイムアウト中に、白チームの 5 番はチームで初めての不正交代をした。タイムアウトが取られたとき、白チームがボールを所持していた。

- (a) 罰則は不要
- (b) 白チームの 5 番を、警告
- (c) 白チームの 5 番を、2 分間退場
- (d) 相手チームのフリースロー
- (e) 白チームが引き続きボールを所持

12 白チームの 5 番が 2 分間退場となった。退場時間が 1 分 45 秒経過した時点で、白チームのチーム役員 A は、5 番をコートへ戻した。

- (a) 白チームの 5 番を新たに 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分 15 秒間さらに 1 名減らす
- (b) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 5 番を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 15 秒間 2 名減らし、その後、1 分 45 秒間 1 名減らす
- (c) 白チームの 5 番を新たに 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 15 秒間 2 名減らし、その後、1 分 45 秒間 1 名減らす

13 黒チームのチーム役員 A は、すでに警告となっていた。そして今、レフェリーの判定に対して黒チームのチーム役員 D が、レフェリーの許可なくコート内に数 m 走り込んだ。

- (a) 罰則は不要
- (b) 黒チームのチーム役員 D を、警告とする
- (c) 黒チームのチーム役員 D を、2 分間退場とする
- (d) (レッドカードを示し) 黒チームのチーム役員 D を、失格とする

14 チーム責任者に段階的罰則を適用するのは、どのような場合か。

- (a) 自チームのプレーヤーが、タイムキーパー・スコアキーパーに告げることなく交代地域を去ったとき
- (b) 記録用紙に記載されていない者が、競技の開始時に交代地域にいたとき
- (c) プレーヤーが余計にコートに入ったとき
- (d) 参加資格のないプレーヤーがコートに入ったとき
- (e) 競技開始後に、コート上のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき
- (f) 交代地域で違反があったものの、違反をした者が特定できないとき
- (g) 競技開始後に、交代地域内のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき

15 前半の 29 分 00 秒に、白チームの 5 番は 2 分間退場となった。休憩時間の後、コートレフェリーは笛を吹いて後半を開始させた。その 3 秒後、タイムキーパーが笛を吹いて「白チームはコート上にプレーヤーが 7 名いる」と伝えた。

- (a) 白チームのプレーヤー 1 名はコートから去らなければならないが、罰則は付加されない
- (b) 白チームのプレーヤーをさらにもう 1 名、2 分間退場とする
- (c) 白チームは 57 秒間 2 名減らし、その後、1 分 3 秒間 1 名減らして競技する

16 コート上での治療行為の後、黒チームの11番は交代地域からレフェリーの判定に抗議をしたため、2分間退場（1回目）となった。白チームの2回目の攻撃の後に2分間の退場時間が終了し、黒チームの11番はコートに入った。

- (a) タイムアウト
- (b) 黒チームの11番を、2分間の退場
- (c) そのまま競技を続行
- (d) 白チームのフリースロー

17 白チームの4番と黒チームの5番が、競技中に衝突し負傷した。レフェリーは直ちに競技を中断（ジェスチャー15）し、コート上での治療行為のために両チームから参加資格のある者のうち2名までの入場許可を与えた（ジェスチャー16）。許可された者がコートに入る前に、黒チームの5番は競技を続行するため立ち上がった。白チームの4番は治療を受け、20秒後、競技を継続することが可能となった。

- (a) コート上の治療を受けた後、白チームの4番はコートから出なければならず、白チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる
- (b) コート上の治療を受けなかった黒チームの5番は、そのまま競技を続けることができる
- (c) 黒チームの5番はコートから出なければならず、白チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる

18 黒チームの速攻中、黒チームの2番がドリブルをしていたら、白チームの10番に押された。黒チームの2番は身体のコントロールを失いながらも、黒チームの4番へパスをし、黒チームの4番は得点を決めた。得点后、防御のため戻る最中に、黒チームの4番は足首を捻った。レフェリーは競技を中断し、白チームの10番を2分間の退場とし、黒チームの4番への治療行為のために、参加資格のある者のうち2名までの入場許可を与えた。30秒後、黒チームの4番は競技可能となった。

- (a) 黒チームの4番は、そのまま競技を続けることができる
- (b) 黒チームの4番は、速やかにコートから出なければならず、白チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる

19 白チームの攻撃中、タイムキーパーが競技を中断した。タイムキーパーはレフェリーに対し、「今、コート上にいる白チームの11番は、記録用紙に記載されていない」と説明した。チーム役員Aが、誤って13番としてメンバー表を提出していたことが分かった。

- (a) 白チームのフリースロー
- (b) 相手チームのフリースロー
- (c) 白チームの11番の参加は、認められない
- (d) 間違いを正し、白チームの11番の参加を認める
- (e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙または報告書にその旨を特記
- (f) 白チームのチーム役員Aに、段階的罰則を適用する

20 プレーヤーの競技への参加資格に関する正しい記述はどれか。

- (a) 競技の開始時にいて、記録用紙に記載されているプレーヤー
- (b) 競技の開始時にいなくても、記録用紙には記載されているプレーヤー
- (c) 競技の開始時にいて、記録用紙に記載されていないプレーヤー
- (d) タイムキーパーから参加の許可を得てはいるが、記録用紙に記載されていないプレーヤー

21 両チームのプレーヤーが衝突し、両レフェリーが笛を吹いた。コートレフェリーは攻撃側の違反（オフENSIBフール）を判定したが、ゴールレフェリーは防御側の違反を判定した。このようなとき、どのように判定すればよいか。

- (a) ゴールレフェリーの判定を採用する
- (b) コートレフェリーの判定を採用する
- (c) 両レフェリーが協議した末に、合意した判定を採用する
- (d) 必ずタイムアウトを取る
- (e) 合意した判定が攻撃側の違反であった場合のみ、タイムアウトが必要となる
- (f) 両レフェリーが通信機器により会話ができる場合、必ずしもタイムアウトを取る必要はない

2 2 白チームのチーム責任者は、両レフェリーと TO に気づかれないようにスコアキーパーを侮辱した。次の競技の中断時に、スコアキーパーはこの件をレフェリーに伝えた。

- (a) 白チームのチーム責任者を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）
- (b) 白チームのチーム責任者を、2 分間退場とする
- (c) 報告書を作成
- (d) 白チームのチーム責任者を、警告とする
- (e) 罰則は不要

2 3 白チームの 6 番が速攻を仕掛け、明らかな得点チャンスとなったタイミングで、会場の照明が消えた。

- (a) レフェリーは、明らかな得点チャンスの結果を待つ
- (b) レフェリーは直ちにタイムアウトを取って、競技を中断する
- (c) 照明が復旧した後、白チームのフリースローにより競技を再開する
- (d) 照明が復旧した後、白チームの 7 m スローにより競技を再開する
- (e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

2 4 白チームの 5 番が明らかな得点チャンスを得たちょうどそのとき、白チームのチーム役員 A がタイムキーパーを侮辱した。白チームの 5 番がシュートを打とうとした瞬間に、タイムキーパーは笛を吹いた。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていなかった。

- (a) 相手チームのフリースロー
- (b) 白チームのチーム役員 A を、警告
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 白チームの 7 m スロー
- (e) 報告書を作成

25 白チームが打ったシュートを、黒チームのゴールキーパー1番が止めた。止めたボールがゴールエリア内をバウンドしている最中に、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ボールがまだゴールエリア内をバウンドしているときに、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。このときボールは、ゴールエリアのすぐ外側で一人待ち構えている白チームの13番の近くまできていた。レフェリーの正しい判定はどれか。

- (a) 白チームのチームタイムアウト
- (b) チームタイムアウトは認められないため、白チームのチーム役員 A にグリーンカードを返す
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 黒チームのゴールキーパーズロー
- (e) 黒チームのフリースロー
- (f) 白チームの7 m スロー